

第 51 回 複素環化学討論会講演プログラム

◇口頭発表(講演15分・討論4分)

1 鈴: 13 分、2 鈴: 15 分(発表終了)、3 鈴: 19 分(討論終了)

◇ポスター発表(各60分)

1 日 目 9 月 15 日(木)

Session 1-1 9:10~10:10 口頭発表 座長: 佐藤 美洋

- 10-01 ホウ素ルイス酸性を制御した環状ホウ素化合物の反復型カップリングへの応用
(山口大院創成) ○土屋直輝・西形孝司 1
- 10-02 ホウ素化グリコシドを用いたアリール C-グリコシドの合成法の開発
(¹慶應大薬・²九大院薬) ○倉林一樹¹・花屋賢悟¹・須貝 威¹・平井 剛²・東林修平¹ 2
- 10-03 分子内檜山カップリングによる 4-シラ-4H-ベンゾ[d][1,3]オキサジンの合成
(阪大院基礎工) ○イ ドンヒョン・新谷 亮 3

Session 1-2 10:10~11:10 口頭発表 座長: 大嶋 孝志

- 10-04 C-H 官能基化によるキュバン縮環型複素環化合物の合成研究
(東北大院薬) ○保坂正樹・長澤翔太・岩渕好治 4
- 10-05 ヒドラゾンを配向基に用いた C(sp³)-H 活性化を駆動力とする新規ピラゾール合成法の開発
(神戸薬大) ○藤岡広樹・福見航平・安井基博・武田紀彦・上田昌史 5
- 10-06 Stereoselective Synthesis of Remotely Functionalized Pyrrolidines by Rh-catalyzed C-H Insertion
(微化研) ○Xinxin Tang・Raj K. Tak・野田秀俊・柴崎正勝 6

Session 1-3 11:20~12:20 口頭発表 座長: 中村 修一

- 10-07 触媒的ビニレントランスファー反応による C4 置換ベンゾフランの選択的合成
(¹阪大院工・²阪大 OTRI) ○西井祐二¹・三浦雅博² 7
- 10-08 タングステン錯体を触媒とするペンタアリール化ピロールの短段階合成
(¹阪大院基礎工・²ミネソタ大・³阪大院薬) ○秋山拓弥¹・垣内勇哉¹・Ian A. Tonks²・剣 隼人¹・真島和志³ 8
- 10-09 ロジウム(I)触媒によるアルキンの分子内不斉ヒドロアシル化反応を利用した環状ケトンの合成
(北大院薬) ○高岸和輝・劉 宜旻・大西英博・佐藤美洋 9

ポスター発表 (1P-01~46) 13:30~14:30

- 1P-01 カリシフィリン B の合成研究
(慶應大理工) ○岩本青空・仲野 暦・佐々木啓二・武井孝也・小林将一朗・川北玲史・徳山絢子・千田憲孝・佐藤隆章 21
- 1P-02 アラインのチオアミノ化を経たフェノチアジン合成法の開発
(¹東理大院先進工・²東医歯大生材研) ○田端慎也¹・美濃島麻衣²・小林瑛宏²・細谷孝充²・吉田 優¹ 22
- 1P-03 パラジウム触媒を用いたベンゾホスホールの炭素-水素結合直接アルケニル化
(¹阪大院工・²阪大先端学際研) ○十倉由宇¹・徐 士博²・小島有貴¹・平野康次¹ 23
- 1P-04 キラルなベンゾセレノテトラミソールの新規合成と塩基・遷移金属フリーでの不斉マイケル付加反応
(¹日大院生産工・²日大生産工) ○田澤翔生¹・市川隼人² 24

1P-05	ヒドロキシステレン類を用いる逆電子要請型不斉 1,3-双極性付加環化反応 (信州大工) ○相馬志直・戸田泰徳・菅 博幸	25
1P-06	擬似分子内反応を利用した中員環構築 (高知工大環境理工) ○濱田拓実・岩井健人・西脇永敏	26
1P-07	金触媒によるヘテロ環化反応を活用したベンゾオキサジノン骨格の効率的合成法の開発 (武庫川女子大薬) 阿部将大・○川元仁歩・井上万夕・来海徹太郎・稲本浄文	27
1P-08	エチニル基が置換したビベンゾフランおよびベンゾジフラン誘導体の合成と光学特性 (関西大化学生命工) ○日比野峻也・梅田 壘	28
1P-09	コバルトフタロシアニン・ニッケル触媒を用いたカルボニル化合物とアルケニルハライドの還元的クロスカップリング (¹ 京大院工・ ² 関西学院大理) ○杉山雅弘 ¹ ・倉橋拓也 ²	29
1P-10	パラジウム触媒を用いた 3-アミノ-4-(2-ブロモフェニル)-2-ピリドンの分子内アミノ化を鍵反応とする 2,3-二置換 β-カルボリン-1-オンの合成 (三重大院工) ○増田大慶・森下裕貴・佐々木陸斗・高畑海渡・植村健人・八谷 巖	30
1P-11	Rosettacin を標的とした新規 indolizine-5-one 骨格構築法の開発研究 (¹ 福山大薬・ ² 横浜薬大) ○水野翔太 ¹ ・西山卓志 ¹ ・遠藤麻衣 ¹ ・本屋敷敏雄 ¹ ・波多江典之 ² ・町支臣成 ¹	31
1P-12	ケチミン類への不斉無置換アレニル化反応の開発 (¹ 名工大院工・ ² 茨城大院理工) ○小山田悠介 ¹ ・山崎進太郎 ¹ ・都築美歌 ¹ ・北川拓実 ¹ ・近藤 健 ² ・中村修一 ¹	32
1P-13	水溶性金触媒を利用した環境調和型 2,3-ジヒドロベンゾフラン類の合成 (¹ 昭和薬科大学・ ² ドルトムント工科大学) ○千秋妃美 ¹ ・森田延嘉 ¹ ・Norbert Krause ² ・田中耕作三世 ¹ ・橋本善光 ¹ ・田村 修 ¹	33
1P-14	ピリジルハロニウム錯体触媒によるアニオン結合性触媒反応の適用調査と定量分析 (¹ 総研大・ ² 分子研) ○大石峻也 ^{1,2} ・藤波 武 ² ・大塚尚哉 ^{1,2} ・榎山儀恵 ^{1,2}	34
1P-15	環状エーテルとトリアリールホウ素から発生する FLP および H ₂ を活用したアミノ酸の還元的アルキル化 (阪大院工) ○久田悠靖・星本陽一・生越専介	35
1P-16	ベンゾフラン環が縮環したアセナフチレン誘導体の合成 (関西大化学生命工) ○宮本稜也・梅田 壘	36
1P-17	縫合重合を用いたポリ(アリーレンビニレン)の合成 (阪大院基礎工) ○外川蒼野・新谷 亮	37
1P-18	フローマイクロリアクターを用いたスチレンの還元的二量化による 1,4-ジリチウム種の生成と複素環合成への利用 (京大院理) ○江 迦源・依光英樹	38
1P-19	炭素一窒素軸不斉キナゾリンチオンで観察されたキラリティー依存型ハロゲン結合 (芝浦工大工) ○松井綾佑・新島江里菜・今井朋美・北川 理	39
1P-20	7-アリールジヒドロピラノ[3,2-c]ピラゾール誘導体の合成 (¹ 日大院生産工・ ² 日大生産工) ○古家康明 ¹ ・市川隼人 ²	40
1P-21	アミンとアルデヒドを用いるスルホニルアレーンの電気化学的 α-アミノアルキル化反応 (¹ 関西学院大生命環境・ ² JST CREST) ○関西光太郎 ¹ ・室岡茉莉 ¹ ・米倉恭平 ¹ ・白川英二 ^{1,2}	41
1P-22	固相中での二酸化塩素を用いた電子豊富芳香環の官能基化 (¹ 阪大院薬・ ² 阪大先端学際研・ ³ 阪大高等共創研) ○関口健昌 ¹ ・浅原時泰 ^{1,2} ・大久保敬 ^{2,3} ・井上 豪 ^{1,2}	42
1P-23	ジブロモジベンゾナフトオキセピン誘導体の合成 (関西大化学生命工) ○筏 裕明・橋本勝慶・梅田 壘	43

1P-24	安息香酸型深共晶溶媒を反応溶媒としたテトラフェニルポルフィリン合成 (¹ 近畿大工・ ² 大分大理工) ○本廣真穂 ¹ ・信岡かおる ² ・北岡 賢 ¹	44
1P-25	コシノスタチンアグリコン CDEFG 環の合成と異性化についての研究 (九州工大院工) ○岩田拓実・清水湧太郎・高橋周平・鶴田健太・下岡弘和・岡内辰夫・北村 充	45
1P-26	光触媒を用いるポリアミンのアルキル化 (関西学院大理) ○牧原勇太・前田文平・村上 慧	46
1P-27	STAT3 阻害活性を有するフラノナフトキノンの合成と構造活性相関研究 (近畿大院農) ○中森優斗・山下光明・塚本有彩・飯田 彰	47
1P-28	α -ブロモステレン修飾フマル酸アミドの分子内 Diels-Alder 反応を利用したナフタレン誘導体の合成 (¹ 阪府大院工・ ² 奈良教育大・ ³ 奈良先端大・ ⁴ 奈良女子大) ○王 智超 ¹ ・山崎祥子 ² ・森本 積 ³ ・ 大場美穂 ⁴ ・高島 弘 ⁴ ・小川昭弥 ¹	48
1P-29	重金属不要の炭素-硫黄結合切断による可視光駆動 Giese 型反応 (静岡大院総合科学技術) ○岩間春香・小川大智・霜島拓磨・依田秀実・仙石哲也	49
1P-30	3-ヒドロキシイソインドリノン類への有機ホウ素触媒を利用した求核置換反応の開発 (近畿大薬) ○中村 光・東 祐輔・前川智弘	50
1P-31	キラルジカルボン酸触媒を用いたオキシインドールの不斉フッ素化 (兵庫県立大院理) ○堀木郁里・下垣実央・三宅由寛	51
1P-32	π 拡張ピレン光触媒/緑色 LED で駆動するエテニルスルホンの還元的脱スルホニル化 (岡山理大工) ○渡部 光・佐藤拓磨・菅原大地・奥田靖浩・折田明浩	52
1P-33	2,5-二置換テトラゾールからピラゾール融合環の合成: マイクロウェーブによるニトリルイミンとアルキンとの 分子内環化付加反応 (大医薬大薬) ○米山弘樹・足立茉望・森田 蒼・中川真稀・馬場美帆・山脇加名子・葉山 登・春沢信哉・ 宇佐美吉英	53
1P-34	新規 <i>N</i> -ボラン環状ホスフィンイミドの合成と応用 (阪大院工) ○長井 駿・星本陽一・生越専介	54
1P-35	サルコフィトライドの合成研究 (岡山大院自然) ○杉田雄治・門田 功・高村浩由	55
1P-36	銅触媒下で行う 2-アリアルベンゾフランとジセレニドとの C-H セラニル化反応 (愛知学院大薬) ○村田裕基・大竹尚亮・佐野萌子・松村実生・安池修之	56
1P-37	脱スルホニル型 Smiles 転位を活用したニトリル合成法の開発 (武庫川女子大薬) ○阿部将大・新田早優・三浦衣莉奈・来海徹太郎・稲本浄文	57
1P-38	不斉増幅を伴う光学活性含窒素 8 員環の合成研究 (¹ 阪大産研・ ² 茨城大院理工・ ³ 阪大院薬) ○滝澤 忍 ¹ ・Tin Zar Aye ¹ ・近藤 健 ² ・笹井宏明 ^{1,3}	58
1P-39	超原子価ヨウ素試薬を用いたカルバゾールの PMB 保護基の酸化的脱保護反応 (近畿大薬) 吉川佳那・田畑崇憲・藤村一真・倉岡夏彩・中村 光・三木康義・○前川智弘	59
1P-40	イオン液体中におけるアミノベンゾピラノキサンテン系色素の熱、光安定性 (¹ 大分大院工・ ² 大分大理工・ ³ 大分大研究マネジメント・ ⁴ 近畿大工) ○河野勇希 ¹ ・石川雄一 ² ・西口宏泰 ³ ・ 北岡 賢 ⁴ ・信岡かおる ²	60
1P-41	近赤外光を活用できるキラルボール型金属錯体の開発 (¹ 金沢大院自然・ ² 金沢大 NanoLSI) ○忍久保芳崇 ¹ ・西村達也 ¹ ・前田勝浩 ^{1,2} ・前多 肇 ¹ ・古山溪行 ¹	61

1P-42	一電子酸化触媒を用いたイナミンと 1,2-ジアジンの脱窒素型芳香環形成反応 (岡山理大工) ○奥田靖浩・佐藤拓磨・武部 蒼・井上友熙・折田明浩	62
1P-43	抗リーシュマニア原虫活性を有するクリスタキセニシン A の合成研究 (長崎大院医歯薬) ○二宮里樹・小嶺敬太・福田 隼・石原 淳	63
1P-44	光駆動型置換反応によるヘテロ原子隣接 C(sp ³)-H 結合のナフチル化 (山口大院創成) ○阿左見将弥・村藤俊宏・上條 真	64
1P-45	1,6-ジインと単体硫黄を用いた Fe 触媒によるチオフェン合成法 (東理大理工) ○印南朱里蘭・荻原陽平・石田健人・坂井教郎	65
1P-46	ヘテロ[8]サーキュレン、デヒドロ[7]ヘリセン、及びヘテロ[7]ヘリセンの電解ドミノ合成 (¹ 阪大産研・ ² 阪大院薬・ ³ 茨城大院理工) ○Ahmed Sabri ¹ ・Mohamed S. H. Salem ¹ ・Khalid Md Imrul ¹ ・ 佐古 真 ² ・近藤 健 ³ ・笹井宏明 ^{1,2} ・滝澤 忍 ¹	66

Session 1-4 14:40~15:40 口頭発表 座長：坂井 教郎

1O-10	新規キラルジカルボキシレート触媒を用いたフェノール類の脱芳香族的不斉フッ素化反応 (兵庫県立大院理) ○松林祐希・下垣実央・三宅由寛	10
1O-11	オルト-CH ₃ /CD ₃ 識別に基づく炭素-窒素軸不斉型同位体アトロプ異性分子の創製 (芝浦工大工) ○三輪翔太・千田龍之介・齋藤和哉・北川 理	11
1O-12	窒素・酸素・硫黄原子を含むヘテロ[9]ヘリセンのエナンチオ選択的合成 (¹ 阪大産研・ ² 阪大院薬) ○Ankit Kumar ¹ ・佐古 真 ² ・笹井宏明 ^{1,2} ・滝澤 忍 ¹	12

Session 1-5 15:40~17:00 口頭発表 座長：尾野村 治

1O-13	ビスイミダゾリン-リン酸触媒を用いた直截的キラルチアゾリジンの合成 (名工大院工) ○飯塚夕夏・和田龍実・小倉和樹・中村修一	13
1O-14	窒素上無保護ケチミンに対する触媒的不斉ヒドロホスホニル化反応の開発 (九大院薬) ○山田昂輝・近藤優太・北村昌彦・門田哲弥・森本浩之・大嶋孝志	14
1O-15	アミノインダノール由来キラル含窒素複素環式カルベン触媒の遠隔位電子効果を利用する不斉分子内 Stetter 反応の反応機構研究 (徳島大院薬) ○入谷航平・猪熊 翼・山田健一	15
1O-16	ビニルキノリン類をジェノフィルとする不斉 Diels-Alder 反応の開発と <i>Endo/Exo</i> 選択性を制御する新知見 (東北大院理) ○中西大志・寺田真浩	16

Session 1-6 17:10~18:30 口頭発表 座長：中尾 佳亮

1O-17	エクテナサイジン 743 の合成研究 (¹ 名大院創薬・ ² 東大院薬) ○中島長安 ¹ ・吉田瑛二 ² ・藤間達哉 ¹ ・西山義剛 ¹ ・福山 透 ¹ ・横島 聡 ¹	17
1O-18	高酸化度プレミルシナン類の合成研究 (東大院薬) ○小森優真・藤野 遥・井上将行	18
1O-19	日本脳炎ウイルスに対する感染阻害剤効果を持つ硫酸化グルクロン酸誘導体および硫酸化トレハロース誘導体の合成 (¹ 愛教大・ ² 会津大短大部・ ³ JRA 総研) ○佐藤康太 ¹ ・左 一八 ² ・根本 学 ³ ・山中隆史 ³ ・中野博文 ¹	19
1O-20	アロタケタール単純化アナログの設計・合成および PKC 結合活性 (¹ 京大院農・ ² 香川大農・ ³ AIST・ ⁴ CBBD-OIL・ ⁵ 慶應大理工) ○眞木準平 ¹ ・押村亜沙美 ¹ ・塚野千尋 ¹ ・ 柳田 亮 ² ・齋藤 裕 ^{3,4} ・榊原康文 ⁵ ・入江一浩 ¹	20

2 日 目 9 月 16 日 (金)

Session 2-1 9:00~10:20 口頭発表 座長：新谷 亮

- 2O-01 有機触媒を用いた多置換キノリン誘導体の新規合成法の開発
(東北大院理) ○韓 暁雷・森 直紀・林雄二郎…………… 67
- 2O-02 有機ホウ素触媒を利用した含窒素環式化合物の水素化/脱水素化を鍵とする水素精製
(阪大院工) ○橋本大輝・浅田貴大・生越専介・星本陽一…………… 68
- 2O-03 イミダゾ[1,5-*a*]ピリジンカルベンを用いたアルデヒドの酸化的エステル化
(岐阜大工) ○遠藤功基・芝原文利・村井利昭…………… 69
- 2O-04 Carboxylic Acids as Combined Source of CO₂ and Base for C—H Carboxylation
(¹Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ.・²Sch. Chem., Univ. Manchester) ○Gregory J. P. Perry¹・Shuo Wang¹・Igor Larrosa²・Hideki Yorimitsu¹…………… 70

Session 2-2 10:30~11:30 口頭発表 座長：竹本 佳司

- 2O-05 イソチオウレア・ハロゲン化物イオン複合型触媒による二酸化炭素固定化反応
(信州大工) ○末永大貴・戸田泰徳・菅 博幸…………… 71
- 2O-06 ハロゲン結合供与性ピリジル配位子から成るヨードニウム錯体触媒の開発
(¹分子研・²総研大) ○加藤雅之^{1,2}・藤波 武¹・大塚尚哉^{1,2}・榎山儀恵^{1,2}…………… 72
- 2O-07 芳香族ヨウ化物をヨウ素化剤とするヨード環化反応の開発
(¹長崎大院医歯薬・²長崎大薬) ○山本耕介¹・中山泉美¹・比嘉健太郎²・栗山正巳¹・尾野村治¹…………… 73

Session 2-3 11:30~12:30 口頭発表 座長：田村 修

- 2O-08 アクアミリンアルカロイドの多様性指向型合成に向けた金触媒環化反応の開発と合成展開
(京大院薬) ○橋本直季・有地法人・井貫晋輔・大野浩章…………… 74
- 2O-09 タンデム反応を基盤とするピロリジン合成と海洋三環性アルカロイド全合成への応用
(中央大理工) ○吉村 惇・半澤凌平・高取祐希・不破春彦…………… 75
- 2O-10 新規二置換ピリドイミダゾイソキノリニウムの合成と細胞内蛍光プローブとしての性質
(愛知学院大薬) ○川久保暢人・伊納義和・稲熊祐子・國府方梨菜・村田裕基・松村実生・古野忠秀・安池修之…………… 76

ポスター発表 (2P-01~45) 13:30~14:30

- 2P-01 2,6 位トランス置換ピペリジン骨格構築法の確立と天然物全合成への応用
(¹富山大院医薬理工・²富山大工) ○馳川史章¹・江口健太²・岡田卓哉^{1,2}・豊岡尚樹^{1,2}…………… 88
- 2P-02 Norrish-Yang 反応を用いた新規イミダゾリジノン誘導体の合成
(お茶女大院理) ○岩田真歩・山田眞二…………… 89
- 2P-03 アルキニルスルフィドとテトラジンとの反応によるピリダジン合成法の開発
(東理大先進工) ○山本千加・鈴木美之里・吉田 優…………… 90
- 2P-04 超強酸を活性化剤に用いたグアニジンの環化反応による含窒素複素環化合物の合成
(¹阿南高専・²北医療大薬・³長岡技大院工) ○谷 綾乃¹・野村礼音¹・坪郷 哲²・戸田智之³・大谷 卓¹…………… 91
- 2P-05 銅触媒を用いるイミダゾリジンの合成
(¹関西学院大理・²名大院理) ○樋口大騎¹・松原聡志²・村上 慧¹…………… 92

2P-06	触媒の使い分けによるメチレンシクロプロパンと活性アルケンとの含酸素ヘテロ環合成 (¹ 阪大院工・ ² 阪大環境安全セ) ○笠原 望 ¹ ・鈴木 至 ² ・芝田育也 ^{1,2}	93
2P-07	ロジウム(II)触媒を連続的に用いた one-pot 反応による actinoallolide A フラノン部の立体選択的構築 (¹ 富山大薬・ ² 京都薬大) ○南部寿則 ^{1,2} ・目黒祥大 ¹ ・杉山光史 ¹ ・矢倉隆之 ¹	94
2P-08	ニコチンアミド系有機ビスマス化合物の合成と抗真菌活性 (¹ 山口大院創成・ ² 奈良女子大工) ○赤坂栞理 ¹ ・嶋本勇也 ¹ ・安達健太 ¹ ・上條 真 ¹ ・村藤俊宏 ¹ ・ 三方裕司 ²	95
2P-09	<i>N</i> -クロロアミドを経由した脂肪族ペプチド側鎖の C-H クロロ化 (京大院薬) 南條 毅・○松元彩香・大下拓真・竹本佳司.....	96
2P-10	母核ジベンゾ[<i>b,h</i>]カルバゾールならびに誘導体の合成と分光特性 (¹ 愛知学院大薬・ ² 徳島文理大香川薬・ ³ 昭和薬大薬・ ⁴ 理研・ ⁵ 東大院薬) ○松村実生 ¹ ・平岩美由紀 ¹ ・ 寺本卓弘 ¹ ・川幡正俊 ^{2,3} ・村中厚哉 ⁴ ・山口健太郎 ² ・内山真伸 ^{4,5} ・安池修之 ¹	97
2P-11	<i>N</i> -Arylation Using Diaryliodonium Salts as a Versatile Approach for Construction of Benzisoxazolones (¹ Coll. Pharm. Sci., Ritsumeikan Univ.・ ² Res. Org. Sci. and Tech., Ritsumeikan Univ.) ○Elghareeb E. Elboray ¹ ・Aki Moraita ¹ ・Taeho Bae ¹ ・Kotaro Kikushima ¹ ・Yasuyuki Kita ² ・Toshifumi Dohi ^{1,2}	98
2P-12	ホウ素を含む π 共役系化合物群の新たな合成法の開発 (¹ 東大院薬・ ² 信大 RISM) ○平野圭一 ¹ ・原田芽生 ¹ ・藤岡昌汰 ¹ ・内山真伸 ^{1,2}	99
2P-13	アルキンの求電子的活性化を利用した 2-アミノベンゾニトリルと単純な末端アルキンからの 4-アミノキノリン 誘導体の合成法の開発 (東理大理工) ○石井美緒・石田健人・荻原陽平・坂井教郎.....	100
2P-14	コバルト触媒を用いた水素を還元剤とする還元的環化反応 (北大院薬) ○磯田夏帆・佐藤美洋.....	101
2P-15	陽極酸化を用いたイソクロマン骨格へのシアノ基導入反応 (¹ 岡山大院自然・ ² 岡山大工) ○横山雄大 ¹ ・小倉実夏 ² ・佐藤英祐 ¹ ・菅 誠治 ¹	102
2P-16	トリフルオロメトキシ基を有する新規ジセレニドの合成と過酸化水素を用いるバイヤービリガー酸化に関する研究 (¹ 日大院生産工・ ² 日大生産工) ○坂本吏駒 ¹ ・市川隼人 ²	103
2P-17	NHC/光酸化還元協働触媒を用いた環状アミノ酸の 1 炭素環拡大を伴ったラクタム合成 (¹ 金沢大院医薬保・ ² 京大化研・ ³ JST さきがけ) ○日下部真優 ¹ ・長尾一哲 ¹ ・大宮寛久 ^{2,3}	104
2P-18	4 位及び 4,5 位にアルキル基を有する新規 3-ヒドロキシチアゾール-2(3 <i>H</i>)チオン類及びそれらの亜鉛錯体 の合成とインスリン様活性 (¹ 東邦大院理・ ² 神戸女子大健康福祉・ ³ 京都薬大薬・ ⁴ 東邦大複合物性研究セ) ○大庭麟太郎 ¹ ・ 吉川 豊 ² ・内藤行喜 ³ ・安井裕之 ³ ・齋藤良太 ^{1,4}	105
2P-19	パラジウム触媒による C-Pd/C-Si 結合交換を経由したジヒドロベンゾシロール誘導体の合成 (阪大院基礎工) ○林 大悟・新谷 亮.....	106
2P-20	4,5-ジブromoイミダゾールのアミノ化—分子内環化によるラダー型化合物の合成と物性 (岐阜大工) ○宮本直暉・飯沼遥奈・村井利昭・芝原文利.....	107
2P-21	イリジウム錯体触媒を用いたアルコールによる含窒素芳香環上のメチル基のアルキル化反応 (京大院人環) ○小野田光貴・藤田健一.....	108
2P-22	イナミドから生じるルテニウムビニリデン中間体を経たアゼピノインドール骨格構築法 (明治薬大) ○渡邊隆太・新島裕樹・黒沢匡貴・田湯正法・大類 彩・齋藤 望.....	109

2P-23	シンコナルカロイド由来新規不斉触媒の開発と高立体選択脱芳香族的臭素化反応 (兵庫県立大院理) ○大前皓平・下垣実央・三宅由寛	110
2P-24	陽極酸化を用いた C-O 結合形成を経るスルトン誘導体の合成 (岡山大院自然) ○奥村恭之・饒平名浩太郎・光藤耕一・菅 誠治	111
2P-25	光学活性イミダゾリンアミノ酸-銅錯体を用いるニトロアルケンとイミノエステルの <i>exo</i> 選択的不斉[3+2]環化付加反応 (千葉大) ○于 言・島田拓弥・荒井孝義	112
2P-26	銅触媒を用いた求電子のアミノ化を利用する α -アミノリン酸の合成 (阪大院工) ○中村彰吾・西野創士・平野康次	113
2P-27	DAB 及び LAB をリード化合物としたグリコシダーゼ阻害活性が期待される新規ピロリジン誘導体の合成 (¹ 富山大院医薬理工・ ² 富山大院理工・ ³ 富山大病院薬) ○小林陽太 ¹ ・池田隼人 ² ・喜瀬真妃 ³ ・島立優奈 ³ ・岡田卓哉 ^{1,2} ・加藤 敦 ³ ・豊岡尚樹 ^{1,2}	114
2P-28	光学活性ビスアミノイミノビナフトール亜鉛複核錯体を用いるアルケニルエーテルの分子間不斉ヨードアゾール化 (千葉大) ○安間恵未・荒井孝義	115
2P-29	新規タンデム菌頭-環化による効率的なベンゾ[<i>de</i>]クロメン骨格合成法の開発 (明治薬大) ○石黒敬明・木村真也・山中正道・横屋正志	116
2P-30	<i>N</i> -ピリミジル基を有するオルト置換アニリン誘導体の回転挙動 (芝浦工大工) ○本間大貴・竹谷修平・白井毅史・北川 理	117
2P-31	ジシラチアンと銅触媒を用いる含硫黄複素環化合物の合成法 (東理大理工) ○竹内隆貴・中島拓海・大森溪太・荻原陽平・石田健人・坂井教郎	118
2P-32	<i>N</i> -ヘテロサイクリックカルベン-ホウ素付加体からのトリアリールホウ素の移動を経由する Frustrated Lewis Pair 発生機構 (¹ 阪大院工・ ² 北大触媒研) ○櫻羽真熙 ¹ ・星本陽一 ¹ ・長谷川淳也 ² ・生越専介 ¹	119
2P-33	チアゾリジンジオンの HNO-Catch-and-Release 特性を利用したイソキサゾール合成 (岐阜大教育) 中野智貴・高坂奈実・加藤義明・○吉松三博	120
2P-34	π ルイス酸性金属触媒を用いた環化-[1,3]-スルフィニル転位による多置換イソキノリンの効率的合成法の開発 (東北大院理) ○久保田圭亮・田代大樹・寺田眞浩・中村 達	121
2P-35	超原子価ヨウ素触媒を用いた酸化的炭素-窒素結合形成反応によるラクタム類の合成 (¹ 立命館大 R-GIRO・ ² 立命館大薬・ ³ 立命館大総研) ○佐々裕隆 ¹ ・森 功耀 ² ・高木佑実 ² ・谷口遥香 ² ・菊嶋孝太郎 ² ・北 泰行 ³ ・土肥寿文 ^{2,3}	122
2P-36	アミノ安息香酸誘導体の環状六量体を利用したケクレン類似体の合成検討 (成蹊大理工) ○千野絢香・楽満憲太・横山明弘	123
2P-37	電気化学的手法を用いた連続的 C-S 結合形成反応によるチエノアセンの効率的合成法 (岡山大院自然) ○長原拓也・片浦 望・光藤耕一・菅 誠治	124
2P-38	ラジニラム及び関連化合物の合成研究 (岡山大院医歯薬) ○谷口裕哉・浜田拓也・松川弘樹・好光健彦	125
2P-39	3-アミノ-2-ピロンの分子内アミノ化反応によるピラノインドール-1-オンの合成 (三重大院工) ○福岡宏太・今井克俊・平野航太郎・後藤信介・八谷 巖	126
2P-40	光学活性 Z 型配位子含有銅錯体の合成と触媒反応への応用 (神戸学院大院薬) ○村上 遼・柴田隆史・高橋 暉・稲垣冬彦	127

2P-41	ビスシリルイミンとシロキシエンインとの分子間カップリング反応による多置換ピロールの合成 (学習院大理) ○茶谷実里・石山佳樹・増田涼介・石田健人・草間博之	128
2P-42	メチル基を有するアミノ安息香酸誘導体を用いたアミド結合含有コロネン類似体の合成 (¹ 成蹊大理工・ ² 東邦大薬) ○楽満憲太 ¹ ・藤井美帆 ¹ ・吉川晶子 ² ・東屋 功 ² ・横山明弘 ¹	129
2P-43	オキシタニルフタロシアニンの結晶多形と電子構造に関する理論的研究 (¹ 山口大院創成・ ² 熊本大院先端) ○三谷龍祐 ¹ ・藤本 斉 ² ・隅本倫徳 ¹	130
2P-44	<i>N</i> -スルホニル-1,2,3-トリアゾールと β -ジケトン類の反応 (¹ 神戸市高専・ ² 神戸市高専専攻科) ○小泉拓也 ¹ ・薮内祐人 ² ・酒井優希 ¹ ・藤本汰伽 ¹ ・井谷瞭斗 ¹ ・河本昂星 ¹	131
2P-45	ホスフィンオキシド触媒によるスクシンイミド類縁体の不斉アルドール反応 (熊本大院薬) ○吉原勇作・小谷俊介・中島 誠	132

Session 2-4 14:40~15:40 口頭発表 座長：大野 浩章

2O-11	不斉 1,3-双極子環化付加反応を用いるスピロピロリジンの 2,5- <i>trans</i> 選択的合成 (¹ 中央大院理工・ ² 中央大理工) ○古屋翔平 ¹ ・井上綾菜 ¹ ・福澤信一 ²	77
2O-12	イソシアナートによるオキシムの <i>N</i> -選択的なアシル化を用いるニトロ形成とその1,3-双極子付加環化反応 (昭和薬大) ○山本彩可・青木啓祐・田中耕作三世・橋本善光・森田延嘉・田村 修	78
2O-13	アルキニルスルホキシドの求電子的活性化を経たベンゾフラン合成法の開発 (¹ 東理大先進工・ ² 東医歯大生材研) ○小林瑛宏 ^{1,2} ・松澤 翼 ² ・細谷孝充 ² ・吉田 優 ¹	79

Session 2-5 15:40~17:00 口頭発表 座長：菅 誠治

2O-14	カチオン過剰型カウンターイオンを有する銅触媒を用いた向山アルドール反応の開発 (神戸学院大院薬) ○谷島寛人・村上 遼・稲垣冬彦	80
2O-15	オレフィンの異性化を鍵としたインドール合成法の開発 (慶應大理工) ○内田知希・斉藤綾佑・高尾賢一・小椋章弘	81
2O-16	Pd/C-エチレン系を用いた置換インドールの新規合成法 (神戸大院理) ○匡 陽金・前田勝海・松原亮介・林 昌彦	82
2O-17	ルイス酸触媒によるフェナントレン環形成法の開発と反応機構の解明研究 (¹ 岐阜薬大・ ² 神戸薬大) ○藤井明子 ¹ ・山田 強 ¹ ・朴 貴煥 ¹ ・古堅 力 ¹ ・高木 晃 ² ・井川貴詞 ¹ ・佐治木弘尚 ¹	83

Session 2-6 17:10~18:30 口頭発表 座長：白川 英二

2O-18	ルイス酸/可視光レドックス触媒系を利用した <i>N</i> -ベンゾイルピロリジンの開環反応 (早大院先進理工) ○平尾まりな・会田和広・太田英介・山口潤一郎	84
2O-19	可視光照射による C-H 結合チオシアネート化反応とワンポットイソチオシアネート化反応の開発 (¹ 関西学院大理・ ² 名大 ITbM・ ³ 名大院理) ○前田文平 ¹ ・相原悠介 ² ・佐藤綾人 ² ・木下俊則 ³ ・村上 慧 ¹	85
2O-20	<i>N</i> -ヘテロ環カルベン/光酸化還元協働触媒によるアルケンのアミドアシル化反応 (¹ 京大化研・ ² 金沢大院医薬保・ ³ JST さきがけ) ○佐藤由季也 ¹ ・隅田有人 ² ・大宮寛久 ^{1,3}	86
2O-21	ボロン酸・光触媒によるカルボン酸の一電子還元型反応の開発 (京大院薬) ○湯村太一・南條 毅・竹本佳司	87

3 日 目 9 月 17 日 (土)

Session 3-1 9:00~10:20 口頭発表 座長：村井 利昭

- 3O-01 二酸化塩素を用いた可視光下クロロホルム酸素化によるアミンのホスゲン化
(¹ 阪大院薬・² 阪大先端学際研・³ 阪大高等共創研) ○高尾希美¹・浅原時泰^{1,2}・森口舞子¹・井上 豪^{1,2}・大久保敬^{2,3}..... 133
- 3O-02 ビニル環状ペルフルオロアルカンスルホニルアミドを用いた開環ラジカル付加重合
(山口大院創成) ○川端崇裕・山崎哲志・寺内萌里・川本拓治・上村明男..... 134
- 3O-03 スルホニルアレーンを用いるアルキルアミンの電気化学的 α -アリール化反応
(¹ 関西学院大生命環境・² JST CREST) ○室岡茉里¹・青木航平¹・米倉恭平¹・白川英二^{1,2}..... 135
- 3O-04 陽極酸化を用いたインドール化合物の骨格変換
(岡山大院自然) ○佐藤英祐・寒川紗衣・雪上絢加・菅 誠治..... 136

Session 3-2 10:30~11:30 口頭発表 座長：佐治木 弘尚

- 3O-05 Chartelline C の合成研究
(東北大院薬) ○熊 浩然・植田浩史・徳山英利..... 137
- 3O-06 Tagetitoxin の全合成研究
(京大院工) ○島田莉子・石村百絵・大澤 歩・中尾佳亮..... 138
- 3O-07 15-16 位を *threo* 配置に固定したアセトゲニンチオフェン誘導体の合成とがん細胞増殖抑制活性
(京都薬大) ○細見紘幸・小柴佐和子・松本卓也・飯居宏美・中田 晋・岩崎宏樹・山下正行・南部寿則・小島直人..... 139

Session 3-3 11:30~12:30 口頭発表 座長：西脇 永敏

- 3O-08 ビス(インドリル)メタン骨格を有する Pd イオン選択的発色剤の開発
(¹ 阪大院薬・² 広島大院先進理工) ○阪 一穂¹・小山珠希¹・野崎志帆¹・相嶋孝亮¹・兼松佑典²・赤井周司¹・澤間善成¹..... 140
- 3O-09 チアゾール環構造を有する新規ポルフィリン類縁体の合成と、その光化学特性
(九大 K-NETs) ○中野健央..... 141
- 3O-10 閉環メタセシス・1,3-双極子付加環化反応ワンポット反応による 5-フェニル-13-アリールイソインドロ[2,1-*a*]キノリン類の合成とそれらの光学特性
(¹ 阪大院薬・² 自然科学研究機構 生命創成探求セ・³ 順大医・⁴ 北大院保健) ○Avena Ramon Francisco¹・和田祐希¹・石井宏和²・渡我部ゆき²・大友康平²・喬 琳³・藤居由基¹・佐古 真¹・村井健一¹・根本知己²・有澤光弘¹..... 142

次回大会アナウンス 12:30~12:40

Session 3-4 13:30~14:50 口頭発表 座長：上村 明男

- 3O-11 3-アジドアラインおよび 3-トリアゼニルアライン種を経る多置換芳香族の合成
(¹ 東医歯大生材研・² 九大先端研) ○田口純平¹・木村洸太¹・奥山拓海¹・井川和宜²・友岡克彦²・細谷孝充¹..... 143

3O-12	シリカゲルまたは酸による σ -トリアゼニルアリールボロン酸からのアライン発生法の開発 (明治薬大) ○伊藤元気・山林由佳・瀧島優太・山崎春奈・伊藤あぐり・樋口和宏・杉山重夫……………	144
3O-13	σ -アルキニルナフトール誘導体のヒドロメタル化による空气中で安定な σ -ヘテロアリール錯体の合成と反応性 (熊大院先端科学) ○荒江祥永・入江 亮……………	145
3O-14	擬似分子内反応を利用したアルキンの <i>syn</i> -選択的ハロゲン化水素化とジベンゾアゼピンの合成 (¹ 高知工大環境理工・ ² 阪大院薬) 岩井健人 ¹ ・向條友輔 ¹ ・浅原時泰 ^{1,2} ・○西脇永敏 ¹ ……………	146